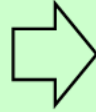


農地を集積し、大区画化を進めることで地域の活性化に貢献 ～農事組合法人おきす～

経営体の概要

設立年度：平成16年度
基幹作物：水稲、二条大麦、ひまわり
経営面積：81.4ha



現在：平成28年度
基幹作物：水稲、二条大麦、ひまわり、
ハトムギ、白ネギ、キャベツ、
さつまいも 等
経営面積：90.4ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成16年に、沖洲地区の3営農組合が合併して「おきす営農組合」を設立し、組織と事業の継続に向けた専業従事者の確保を第一の目的に平成27年1月に法人化し、本事業により安定的な用水供給が可能となったことで、地区外の農地を含め経営規模を拡大している。高温耐性品種を県内の大規模経営者で初めて導入し県内の生産拡大に先駆的役割を果たし、鉄コーティングによる直播栽培や疎植栽培の導入により省力化・低コスト化にも努めている。また、ひまわり栽培では開花時には他県からも観光客が訪れるなど地域活性化にも貢献している。

営農改善のポイント

①作物の変化

水稲では、「コシヒカリ」の高温障害に対応するために、県が推奨を予定していた「つや姫」を大規模経営者として平成23年に県内でいち早く導入し、安定した生産を実現している。また、新たな作物を導入する際は、栽培試験を行い、収量、品質や作業性などから当地域に適する品目であることを確認し導入している。



収穫を迎えた水稲ほ場

②省力化と低コスト化

低コスト技術では、鉄コーティングによるたん水直播栽培や疎植栽培を導入しており、低コスト化と労働力軽減を図りながら、高位安定収量を確保している。また、今年から県内の法人でいち早くGPSガイダンス農業を導入し、誰が作業しても無駄なく効率的に機械作業が行える体制の構築を計画している。



たん水直播の播種作業

③地域農業の活性化に貢献

法人化の際に、地区外や組合員以外の農地を含め農地中間管理事業を活用して集積し、作業受託により周辺地区を含めた耕作放棄地の発生抑制に貢献。また、ひまわり栽培では、開花時に地元だけでなく、他県からの観光客も訪れており、地域の活性化にも貢献している。



ひまわりのほ場

事業概要

事業種：国営農業用水再編対策事業
関係市町：出雲市
受益面積：3,728ha
事業期間：平成17年～平成28年
事業目的：用水改良
主要工事：用水路の新設・改修49.7km、揚水機場等の改修3ヶ所、汐止堰新設1ヶ所、水管理システムの整備一式 他

位置図（島根県）



<局問い合わせ先>

中国四国農政局
農村振興部農村環境課
電話：086-224-4511
(内線：2562)

(平成28年度調査時点)